



表紙

小林英樹

《素敵なトンネル》 合成樹脂使用 2273 × 1818mm

## 表紙絵解説

北海道に移住して数年後、ぼくは大きなキャンヴァスにトンネルの絵を描き続けていた。トンネルといっても実際のものからはほど遠く、軟らかな合成樹脂の絵具を画面に置いたり飛び散らせただけのタッチの繰り返しで終りにしたものばかりである。タイトルは《不安なトンネル》《素敵なトンネル》の二種類。交錯する二つの気持ち、出口の向こうに微かだが明るい景色が見える、がんばれ、その日は来るぞ！と自らを鼓舞する気持ちでキャンヴァスに向かっていた。

この作品は、道立近代美術館で行われた『アートドキュメント'90』というグループ展に出品した。メンバーのなかに舞踏家の田中泯<sup>たなかみん</sup>さんがいて、オープニングの日、作品が展示されているフロアーで即興的に舞った。夜の宴会の席上、彼は「今日の舞はある作品からイメージをもらった」と話したが、何と、それがこの作品であった。ぼくは嬉しくなって作品をプレゼントすることにした。いまは、彼の山梨県の道場の壁に飾られているそうだ。

小 林 英 樹